

KH NeoChem

第8期 中間 株主通信

2017年1月1日～2017年6月30日

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
剰余金の配当基準日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。(http://www.khneochem.co.jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所	東京証券取引所(市場第一部)
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱致します。 みずほ信託銀行本店及び全国各支店* ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行*、みずほ銀行の本店及び全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内

<http://www.khneochem.co.jp/>

当社ではホームページにて企業情報を掲載しています。

当社の事業・製品、研究開発のほか、IR情報も随時開示してまいります。

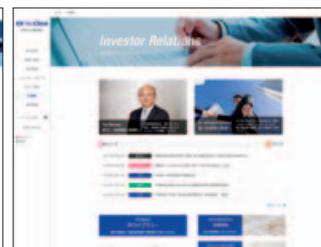
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



トップページ



事業・製品



IR情報

KH NeoChem KHネオケム株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5
TEL 03-3510-3550 FAX 03-3510-3571



KHネオケム株式会社



企業理念

企業使命

「化学の力」で、
よりよい明日を実現する。

経営姿勢

確かな技術と豊かな発想で、
夢を「かたち」にする。

行動指針

「新たな一歩」を踏み出して、
さらなる高みに挑戦する。

代表取締役社長

浅井 恵一

中期経営計画の着実な実行により 当中間期は増収増益となりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年12月期第2四半期累計(2017年1月1日から6月30日まで)の連結業績は、冷凍機油原料や化粧品原料などの機能性材料の販売数量が伸長したことに加えて基礎化学品も海外市況が堅調に推移したことなどにより、前年同期比で売上高は15.8%増の455億14百万円、営業利益は31.9%増の56億68百万円と、増収増益となりました。

なお、当社では投資活動の原資である内部留保の充実に配慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を維持することを基本方針としております。この方針に基づき、当中間期の配当は、1株当たり25円とさせていただきます。

現在、2016年度から2018年度までの3カ年を対象とする中期経営計画に取り組んでおります。引き続き3つの基本方針である「機能化学品のグローバル拡販」「基礎化学品の収益強化」「将来に向けての地盤固め」を着実に実行し、さらなる飛躍に向けて邁進していく方針です。

当社は今後も、独自技術の一層の高度化を図り、世界の産業と社会に新たな価値を提供してまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2017年9月

KHネオケムの沿革

1948年

協和産業(後の協和発酵工業)が糖蜜からアセトン・ブタノールを量産(日本初)



四日市工場

1949年

協和発酵工業設立

1963年

四日市工場完成

1966年

協和油化設立



千葉工場

1988年

日本オキシコール設立(現:千葉工場)

2011年

協和発酵キリングループから独立翌年、社名を「KHネオケム」に変更

2015年

台湾で合弁により、擘揚股份有限公司を設立



擘揚股份有限公司の開所式

2016年

東証一部上場

日本の主な出来事

1947年

第一次ベビーブーム

1958年

東京タワー完成

1964年

東京オリンピック開催

1970年

大阪万博開催

1988年

青函トンネル、瀬戸大橋開通

2012年

東京スカイツリー完成

2013年

富士山がユネスコ世界文化遺産に登録

2016年

伊勢志摩サミット開催

当第2四半期累計のポイント

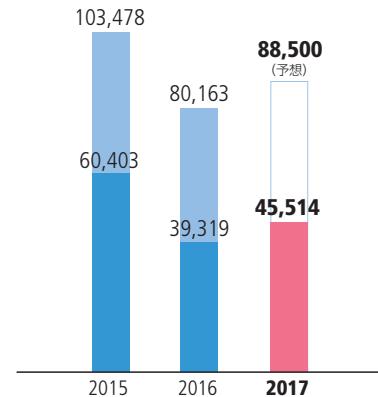
- 販売数量の伸長やナフサ価格の上昇により売上高は前年同期比15.8%の増収
- 機能性材料などの販売が好調に推移し、各利益段階で増益を達成
- 中間配当は1株当たり25円(年間配当は1株当たり50円を予定)

2017年12月期第2四半期累計の連結売上高は、販売数量の伸長やナフサ価格の上昇を主要因として前年同期比で15.8%増収の455億14百万円となりました。収益面については、機能性材料などの販売が好調に推移し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の各段階で増益を達成しました。

当社は株主の皆様への利益還元と継続的な企業発展を経営の最重要課題とし、2017年12月期の中間配当は、1株当たり25円とさせていただきます。なお当期の期末配当は1株当たり25円(年間1株当たり50円)を予定しています。

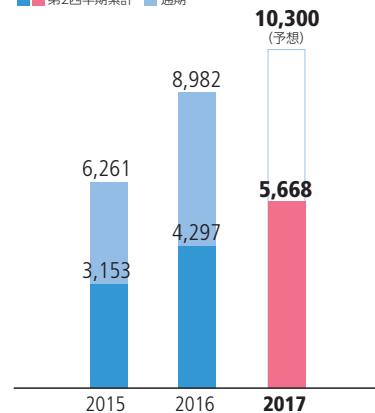
売上高 (百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期



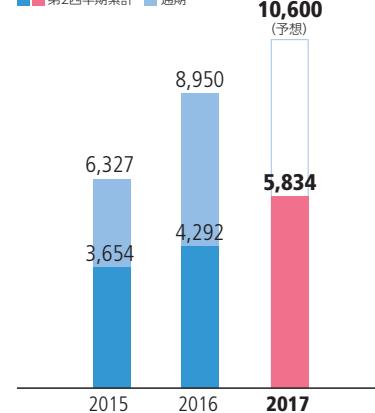
営業利益 (百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期



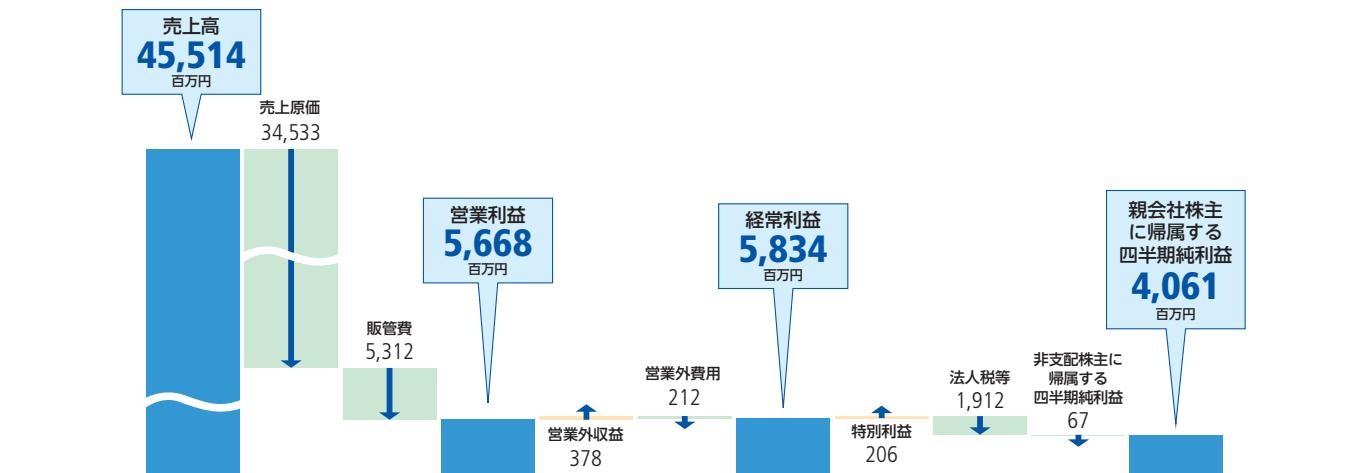
経常利益 (百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期



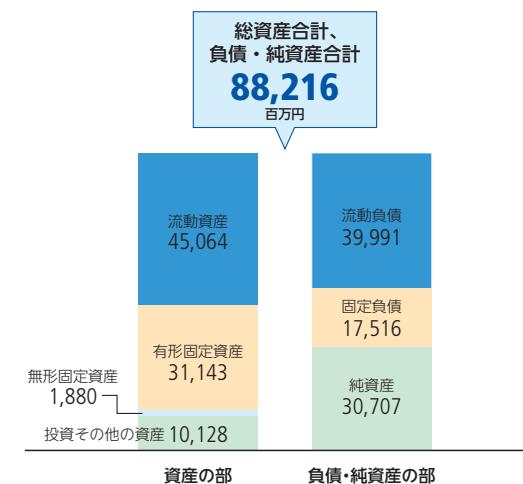
連結損益計算書 (百万円)

当第2四半期累計 (2017年1月1日～2017年6月30日)



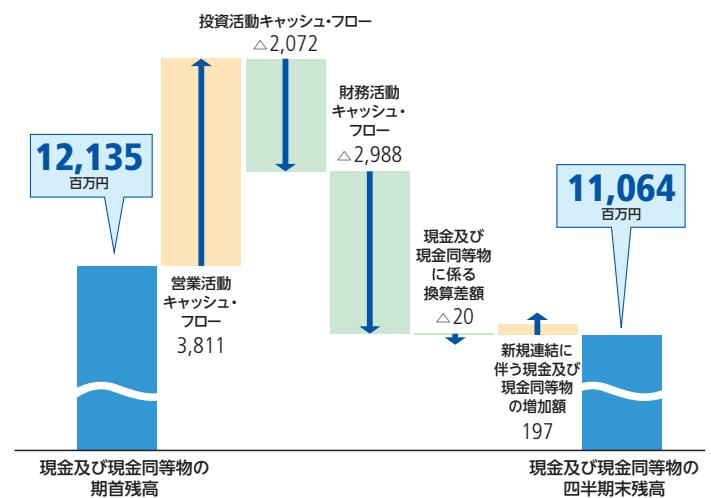
連結貸借対照表 (百万円)

当第2四半期末 (2017年6月30日)

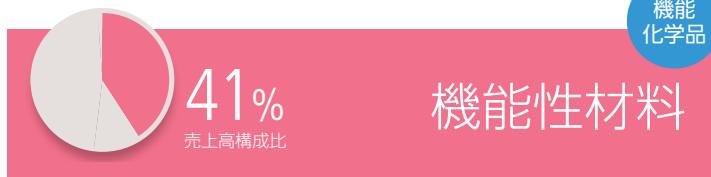


連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

当第2四半期累計 (2017年1月1日～2017年6月30日)



機能
化学品



当社の「機能性材料」は、オキシ反応を通じて得られるユニークな構造・物性を有しており、代替フロンに対応したエアコンの潤滑油（冷凍機油）や水系塗料といった製品の原料として、地球環境の保全に貢献しています。

また、その独特な物性を活かして、化粧品や家庭用洗剤等の身近な日用品にも使用されています。

業績ポイント

アジア、米州を中心に需要が拡大し、販売数量が増加したことにより、売上高は前年同期比23.9%増の185億38百万円、売上総利益は前年同期比54.8%増の60億63百万円となりました。



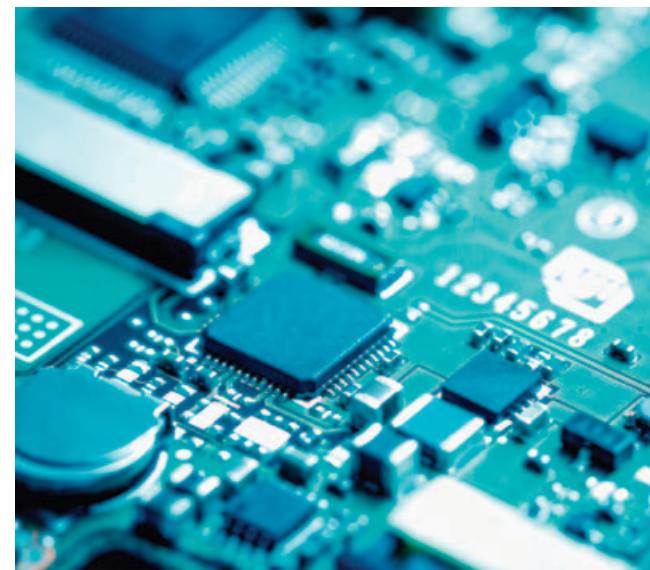
機能
化学品



卓越した高純度化技術と品質管理ノウハウを融合させ、日々進歩する電子材料分野のニーズに応える高純度溶剤を提供しています。

業績ポイント

半導体産業や液晶パネル向けなどに着実な販売を進めた結果、売上高は前年同期比12.3%増の52億50百万円、売上総利益は前年同期比1.2%増の14億60百万円となりました。

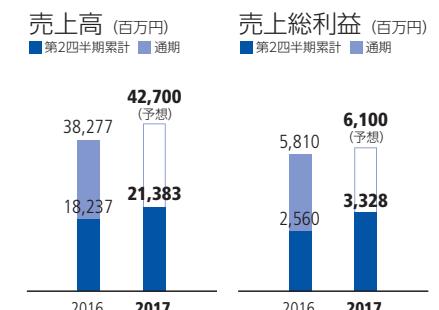


溶剤、可塑性原料、樹脂原料など、自動車分野をはじめ国内外の産業を支える豊富な製品ラインナップを取り揃えています。

厳格な品質管理体制のもとで生産される製品は、その多くが国内トップクラスのシェアを有しています。

業績ポイント

原料コストが上昇しましたが、販売数量の増加や海外市況が堅調に推移し、売上高は前年同期比17.3%増の213億83百万円、売上総利益は前年同期比30.0%増の33億28百万円となりました。



積極的なIR活動を展開しています

株主や投資家等の皆様に、当社に対するご理解を一層深めていただき、さらなる信頼関係を構築していくために、当社情報の積極的な発信を行っています。

決算説明会

大手町サンスカイルーム 2月14日



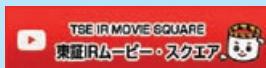
東証IRフェスタ2017

東京国際フォーラム 2月24・25日



四半期毎の決算説明会や東証IRフェスタへの出展のほか、工場見学会や海外IRなどを通じて株主・投資家の皆様と積極的なコミュニケーションを図っています。

東証IRムービー・スクエアへ掲載



東証IRムービー・スクエア KHネオケム

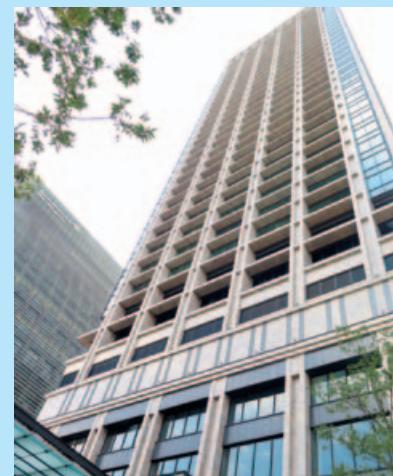
検索 🔍

当社のことをもっと多くの投資家の皆様に知っていただくために、『東証IRムービー・スクエア』に当社の会社案内動画を掲載しました。本動画サイトは、東京証券取引所が投資家向けに上場企業の紹介動画等を配信するものです。

上場後初の定時株主総会を開催

2017年3月24日(金)、東京日本橋タワーで上場後初となる定時株主総会を開催しました。当日は、200名を超える株主の方々がご来場くださり、全ての議案を承認・可決いただきました。株主の皆様からいただいた多くのご意見を参考に、今後も皆様のご期待に沿えるよう、役員・従業員一同、より一層努力してまいります。

株主総会 会場



会場内(受付)



株主総会の様子



KHネオケムのCSR

当社は、豊かで、持続可能な社会づくりのため、
事業やコミュニケーション活動を通して、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

化学品事業を通して

当社は、世界の人々の豊かな暮らしに貢献するため、環境に優しい「環境配慮型製品」を提供しています。また、製品を生産する際に発生する工場の排ガス・廃棄物の削減、省エネルギー等にも積極的に取り組んでいます。

環境に配慮した製品

当社は、VOC（揮発性有機化合物）の含有量が少ない水系塗料に使用されるDAAM（ダイアセトンアクリルアמיד）や、オゾン層を破壊せず、且つ地球温暖化を抑制する冷媒に対応した冷凍機油の原料など、環境に配慮した製品を多数有しています。

また、豊かで持続可能な未来を実現するべく、「環境対応・貢献」を研究方針の1つに掲げ、研究開発に取り組んでいます。

工場の環境配慮

当社は、工場の排ガス・廃棄物の削減、省エネルギー等、環境負荷を低減する取り組み（レスポンシブル・ケア活動）を積極的に行っています。また、CSRレポートを作成し、当社の取り組みを詳しくご紹介してまいります。



企業市民として

化学品メーカーとして、地域との協調を重要な責務と考え、さまざまな活動を通して地域社会とのコミュニケーションを進め、社会との調和を目指しています。

地域に根差した社会貢献活動

清掃活動

工場周辺の道路や海岸などにおいて、地域の皆様とともにさまざまな清掃活動に取り組んでいます。



地域の お祭りに協賛

毎年、地域のお祭りに出店・参加し、地域に安心・信頼される企業を目指しています。

会社概要 / 株式情報

Company Profile / Stock Information

会社概要 (2017年6月30日現在)

設立	2010年12月8日 (前身の協和油化(株)は1966年11月に設立)
資本金	8,745百万円
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売
従業員数	736名(連結)、599名(単体)

役員 (2017年6月30日現在)

代表取締役社長	浅井 恵一*
取締役副社長	高橋 理夫*
常務取締役	佐藤 一哉*
取締役	松岡 俊博*
取締役	平井 謙一*
取締役	新谷 竜郎*
取締役(社外)	原島 克
取締役(社外)	藤瀬 學
取締役(社外)	永田 光博
常勤監査役	大戸 徳男
監査役(社外)	稲垣 敦夫
監査役(社外)	伊藤 健二
執行役員	斎藤 誠司
執行役員	緒方 利明
執行役員	角田 知紀
執行役員	松田 恒次

*印の付いた取締役は執行役員を兼務しております。

株式の状況 (2017年6月30日現在)

発行可能株式総数	136,200,000株
発行済株式総数	36,749,400株
単元株式数	100株
株主数	8,206名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,738	10.17
SHEPHERDS HILL CAPITAL PARTNERS	2,038	5.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,954	5.32
日本産業第三号投資事業有限責任組合	1,596	4.35
JP MORGAN CHASE BANK 380634	1,555	4.23
株式会社みずほ銀行	1,466	3.99
MANASLU FUND, L.P.	1,180	3.21
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	791	2.15
SONORA FUND, L.P.	781	2.13
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	707	1.93

所有者別株式分布状況 (2017年6月30日現在)

